



多摩美術大学 演劇舞踊デザイン学科

Tama Art University Department of Scenography Design, Drama, and Dance

自由と意力

Freedom and Will

観察し、思考しよう。

構想し、実行しよう。

創造し、表現しよう。

何事にも妨げられない自由な想像力と、

独自の世界を築き続ける強い意志とともに。

意力によって自由は生まれ、自由によって意力は育まれる。

多摩美術大学

多摩美と上演芸術

Tamabi and Performing arts

美大で学ぶ上演芸術って何だろう？

多摩美生まれの自由と意力に満ちた上演芸術を

まだ見ぬ未来に届けたい。

わたしにしかできないことを、

わたしだからできることを、

仲間たちと探したい。

演劇舞踊デザイン学科

多摩美のカリキュラム

" 新たな価値を生む 3 本柱 "

多摩美術大学では、実技または専門領域を学ぶ「**専門学科科目**」と、教養を学ぶ「**共通教育科目**」を開講しています。専門技能・知識の習得と、これを "世界" につなげることができる教養が、高度な専門職業人（アーティスト・デザイナー・研究者・教育者）の育成に欠かせない両輪と考えているためです。

さらには、「**目的に応じて選択する科目**」があります。これらが多摩美のカリキュラム 3 本柱です。

専門学科科目

高度な専門性を学びます。**学科独自の科目群**です。

専門実技と専門講義があります。

共通教育科目

豊かな教養を身につけます。全学科に開かれた科目群です。

教養・美術理論・言語・リテラシーなどの講義科目があります。

目的に応じて選択する科目

全学科に開かれた科目群です。

① 社会性や専門性の幅を広げるための学び

PBL (Project Based Learning) 科目など

② 資格取得のための学び

学芸員課程関連科目など

演劇舞踊デザイン学科には、＜演劇舞踊コース＞と＜劇場美術デザインコース＞があります。
 コースごとの専門性を深めると同時に、交差し合いながら上演芸術を学びます。
 上演芸術界の第一線で活躍する教員が
 これからの表現を切り開いていく豊かな人材を育成します。

演劇舞踊コース

Drama and Dance Course

身体表現者・演出家・劇作家など、
 上演芸術を支える独創的な人材を育成

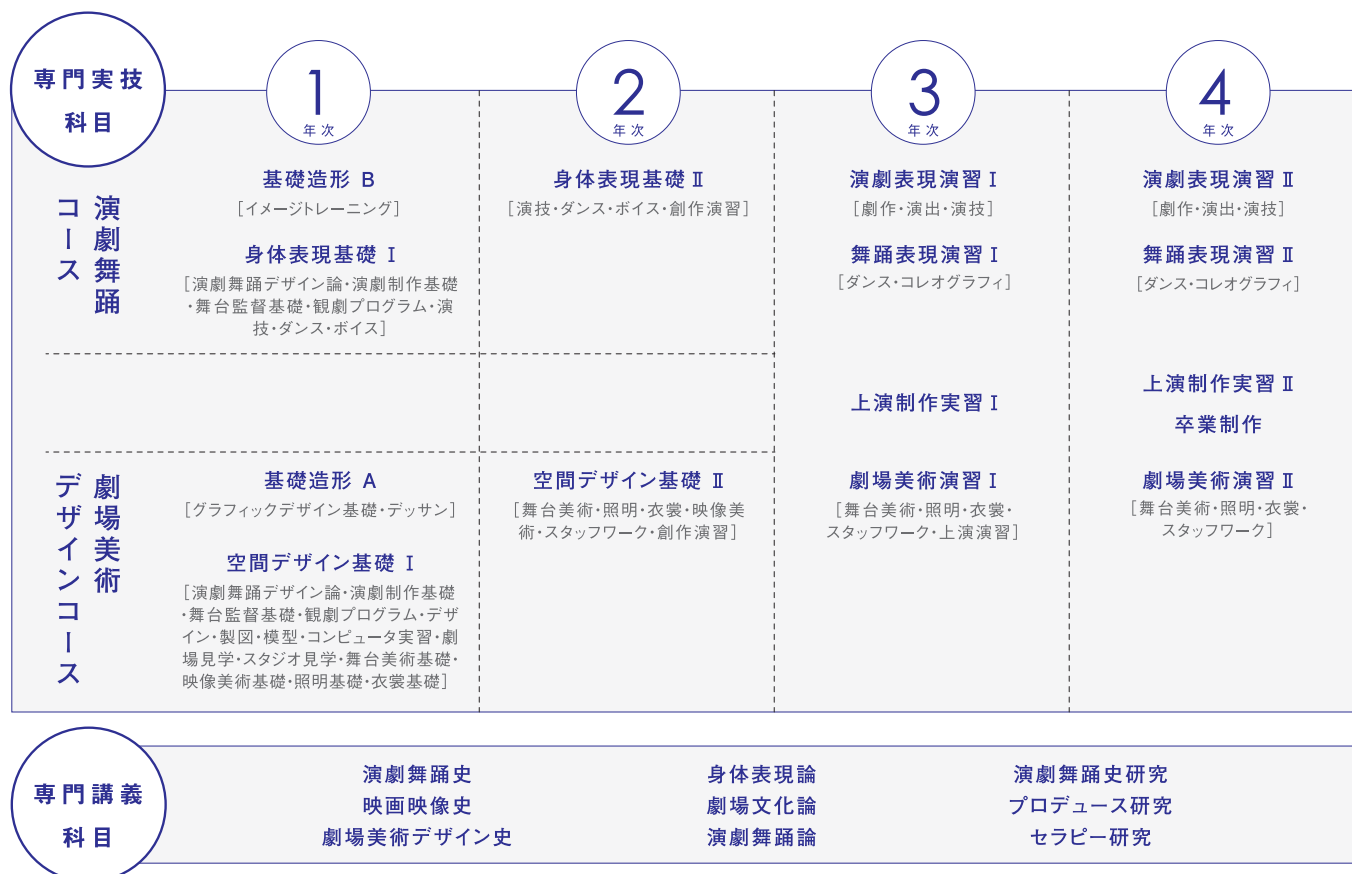
身体表現についての実践や思索を深化させ続けていくことが、創造に携わる人間としての礎です。導入教育では「演劇」「舞踊」を横断的に学ぶことを通じて、個々の身体の特性を知覚し、身体にまつわる基礎的な表現力を習得します。美大ならではの造形演習も、身体表現に必要な発想力を深めます。3年次以降は、「演劇」「舞踊」「劇作」「演出」等の専門性を用い、劇場美術デザインコースとのコラボレーションを通じて創作力を磨きます。俳優・ダンサー・演出家・振付家・劇作家などの道に進む卒業生を輩出しています。

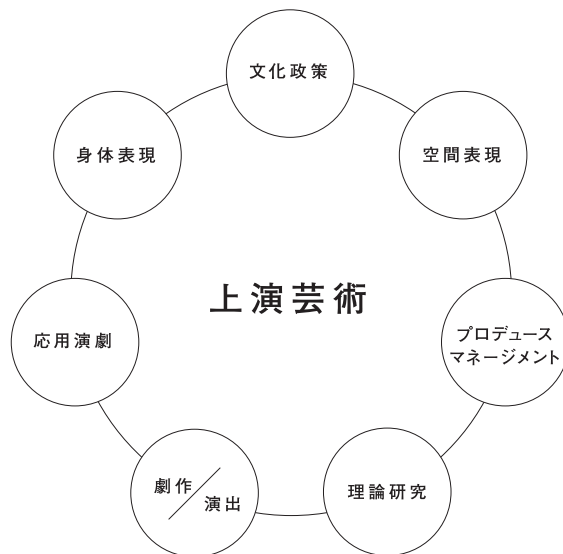
劇場美術デザインコース

Scenography Design Course

舞台美術・照明・衣裳など、上演芸術の
 視覚演出を担う独創的な人材を育成

実践と理論を両輪とする体験型授業の学びを重ねます。導入教育では造形力とスキルを徹底的に習得することから始め、年次ごとに専門性を高めていきます。演劇舞踊コースとコラボレーションする上演制作実習では実践力を養います。3年次以降のゼミ室には、学生個々の研究デスクが完備しています。デザインワークのみならず、スタッフワークを通じて、上演芸術の総合性を学びます。舞台美術・照明・衣裳のデザイナー、舞台監督などの道に進む卒業生を輩出しています。





上演芸術の要素は、全て繋がっています
 これらを俯瞰して学ぶことで、その本質に触っていきましょう

演劇舞踊デザイン学科のカリキュラム

実践的で感覚的な理解を重視し、導入(1年次)から基礎(2年次)、応用課程(3年次・4年次)へと繋げていきます。応用課程では、学内の<演劇舞踊スタジオ>や学外の劇場を使用し、実際に作品を制作し発表する「上演制作実習」を行うなど、実践的な授業を積み重ねます。コースごとに展開する授業、コース合同で展開する授業があります。

演劇舞踊コースと劇場美術デザインコースとの合同授業

【1年次】

「身体表現基礎I」「空間デザイン基礎I」の一部を合同で展開します。

1. 演劇舞踊デザイン論

専任教員によるリレー講座。異なる専門性を切り口とし、上演芸術の本質的な全体像と出会います。

2. 舞台監督基礎論・演劇制作基礎論

クリエイションとマネージメント・プロデュースの有機的な関係性を学びます。

3. 観劇プログラム

伝統演劇(能/狂言・歌舞伎・文楽)と、教員が手がけている最新作や上級生の実習公演を鑑賞します。

【3年次・4年次】

「上演制作実習」「卒業制作」

専門講義

両コースに開かれた科目群です。

現在の上演芸術の表現をその根元にまで遡ってみましょう。演劇・オペラ・バレエ・コンテンポラリーダンス・日本の伝統演劇・劇場美術・映画映像等の理論を歴史的、社会的な背景を踏まえながら学びます。プロデュース研究や、セラピー研究では、創作を社会に届けることや、応用発展の意味合いを学びます。

大学院 演劇舞踊専攻のカリキュラム

美術研究科 博士前期課程(修士課程)

演劇舞踊専攻 演劇舞踊研究領域・劇場美術デザイン研究領域

学部での学びをさらに深めたい人のために大学院が開設されています。大学院では上演芸術の独創的なアーティストや研究者の育成と同時に、専門的なスキルと知見をもとに社会に貢献できる人材の育成を目指しています。

研究領域

演劇舞踊専攻には<演劇舞踊><劇場美術デザイン>の2つの研究領域があります。

<演劇舞踊研究領域>では演技・劇作・演出・ダンス・コレオグラフィ・演劇史・演劇理論について、<劇場美術デザイン研究領域>では舞台美術・照明・衣裳・映像美術のデザイン及び理論について創作と研究ができます。

カリキュラム

「演劇舞踊研究」「劇場美術デザイン研究」では、演習を通じて自らの表現方法を構築し深化させ修士作品の創作に向かいます。「研究指導」では、その成果を客観的に分析し研究報告書や修士論文に繋がられるよう個別の助言指導を受けます。また「共通選択科目」には、文化人類学・芸術学・哲学・デザイン論などの講座が開設されていますので、自らの創作に対し分野を横断した幅広い視点を得ることができます。



演劇舞踊コース

Drama and Dance Course

1年次

演技・歌唱・舞踊・振付・戯曲に関する演習により、上演芸術における身体表現の基礎を学びます。

アート作品の創作や鑑賞を通じて、イメージする力を育みます。美大ならではの演習です。

2年次

基礎的な身体表現から、より実践的な身体表現の探求に移行します。

他者との協働によって新たな身体表現を創作します。

演劇の演習では、戯曲の読み解き、セリフと声の関係性、古典から現代に渡る様々な形式などを学びます。

舞踊の演習では、身体に対する考察を日常化し、さらに身体を使って何が表現できるかを探ります。からだほぐし・対話・振付・創作的な表現形式を展開します。

3年次

劇作・演出・演技・ダンス・コレオグラフィなどの専門性を掘り下げる演習を選択履修します。

劇場美術デザインコースとコラボレーションする「上演制作実習」では、創作・発表を行います。

4年次

専門的な学びを統合して劇場美術デザインコースとともに「卒業制作」に取り組みます。





劇場美術デザインコース

Scenography Design Course

1年次

舞台美術・照明・衣裳・映像美術に関する講義・デザイン演習により、上演芸術における視覚演出の基礎を学びます。製図などの基礎演習をデザインの力に繋げます。劇場や工房の見学では現場の専門性を肌で感じることができます。

グラフィックデザインの基礎演習やデッサンを重ねます。光や身体に注目する課題は、劇場美術デザインの基礎に繋がります。

2年次

コンピュータ実習では、グラフィック系スキル、CADソフトウェアによる3D製図を学びます。専門的な演習は舞台美術・照明・衣裳の中から2演習を選択履修します。デザインワークに加えて製作技法や専門機材の扱いを学びます。創作演習では、上演芸術そのものに対する感受性を耕すワークショップを行います。

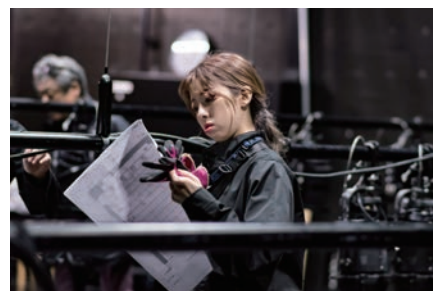
3年次

2年次で選択履修した演習から1演習をゼミ選択し、専門性を深めていきます。

演劇舞踊コースとコラボレーションする「上演制作実習」では、創作・発表を行います。

4年次

専門的な学びを統合して演劇舞踊コースとともに「卒業制作」に取り組みます。





上演制作実習

2022年度 多摩美術大学 演劇舞踊デザイン学科3年次 上演制作実習I 演劇公演
『多摩美能楽集Ⅳ ～私たちなりのそろりそろり、朝と夜の大爆発キッス～』
2022年12月9日(金)・10日(土) @上野毛キャンパス 演劇舞踊スタジオ



『解体されゆくアントニン・レーモンド建築 旧体育館の話』 作:オノマリコ



『エッグ』 原作:野田秀樹

卒業制作

2022年度 多摩美術大学 演劇舞踊デザイン学科 卒業制作演劇公演
メビウスの輪 ～緑の交わり～
2022年12月25日(日)・26日(月) @東京芸術劇場 シアターイースト

多摩美術大学 × 二子玉川ライズ 二子玉川地域連携アートプロジェクト タマリバース

<タマリバース> は、PBL科目から生まれるアートプロジェクトです。産学連携型授業として、多摩美術大学と東急株式会社が共同展開しています。上野毛キャンパスに近する東急二子玉川ライズを拠点に、2011年から歴史を刻み、今や街の秋の風物詩に育ちました。メインイベントは、ライズの半屋外空間ガレリアを舞台とした "広場演劇"。企画立案・劇作・演出・振付・デザイン・製作・運営・プロモーション・アウトリーチ・宣伝美術・出演の全てにおいて学生たちが大暴れ!! PBL科目には、学科、学年、キャンパスを超えた仲間たちが集まります。



2018年度『タマゾニア ～知らないヤツらと生きていく～』



2019年度『ふたこのわたし ～私は二子玉川でわたしになる～』



2021年度『タマゾニア ～はじめてまして…ガブッ!～』



2022年度『ふたこのわたし ～真夜中におはよう～』

さまざまな課外活動

東京演劇大学連盟

東京演劇大学連盟は、2013年に演劇の実技教育を有する都内の5大学（桜美林大学・玉川大学・多摩美術大学・桐朋学園芸術短期大学・日本大学）により設立されました。大学における演劇の実技教育のあり方や、社会との関わりを検証し、公共劇場とも連携しながら、首都圏ならではの様々な企画を展開しています。

多摩美術大学は2015年度・2021年度に共同制作公演の企画・運営の担当校を務めました。いずれも、文化庁の「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」に採択され文化庁委託事業として展開し、注目を集めました。2015年度の『カノン』は高い評価を得て、2021年には、東京芸術劇場主催公演として再登場を果たしました。

2022年度は、サマースクールを開講。「創作演習 ～お散歩（ジャーニー）から始まるよ～」を連盟企画として実施。教場である東京芸術劇場とその周辺のお散歩を経て、グループワークでの創作・発表を行いました。

2023年度は、各大学で実施する実習公演の相互鑑賞と合評会、世界的に注目を集める海外劇団メンバーによる身体ワークショップを行います。



2015年度『カノン』
（作:野田秀樹 演出:野上絹代）
東京芸術劇場 シアターイースト



2021年度『あたらしい憲法のはなし3』
（原作:柴 幸男 脚色・演出:西 岳）
東京芸術劇場 シアターイースト

シャネル メティエダール コレクションショー

毎年12月に行われるメティエダール コレクションは、シャネル傘下のアトリエの卓越した職人技を語るコレクションショーです。2022年にセネガルのダカルにて発表された、メティエダール コレクションの東京での再演に、22名の学生が参加しました。

ディミトリ・シャンプラス氏監修のもと、ショーのオープニングシーンと、ショー会場までの道中を彩る「スロー ショー」で大活躍。

ディミトリ氏によるワークショップから始まり、学生たちは、シャネルが誇るメティエダールの世界観を全身で表現。訪れた多くの観客を魅了しました。

（メティエダール（Métiers d'Art） 仏語＝芸術的な手仕事）



コレクションショーのオープニングパフォーマンス
@東京ビッグサイト(2023/6/1)



「スロー ショー」

プラハ・カドリエンナーレ2023

プラハ・カドリエンナーレは、チェコ共和国の首都プラハで4年に一度開催される世界的な舞台芸術の祭典です。学生部門JAPANブースの空間デザイン国内コンペティションにおいて、劇場美術コース4年有志2名の共同デザインが特別賞を受賞しました。現地でのパフォーマンスプログラムには、8名の学生が渡航し、オリジナルパフォーマンス「HOTTKU」を上演しました。プロ部門JAPANブースでは15名からなる代表デザイナーとして、金井勇一郎教授・加納豊美教授の作品が紹介されました。



学生部門カタログ



パフォーマンス

在校生の声



演舞3年 吉田美織さん



演舞4年 西崎達磨さん



劇美1年 大橋千叶さん



演舞2年 渡邊大輝さん



劇美2年 新井涼香さん



演舞1年 迫 睦さん

1. 多摩美の魅力はなんですか？

吉田:多摩美に入って「演劇に正解はない」ということをより実感しました。メソッドを教わるというより、とにかく実践・チャレンジする機会がたくさんあります。

西崎:「場」を提供してくれるところ。そこから、自分がどうやってみるか。

大橋:現場で活躍されている先生がたくさんいてびっくりです。リアルなことを教えて頂けるのでいつもワクワクしています。

渡邊:先生と学生の関係じゃなく、同じ表現者同士としての目線でアドバイスがもらえるところです。

新井:多くの教養を得られることです。大学に入ってから興味の幅がグッと広がりました。

2. 高校と大学の違いはなんですか？

大橋:履修する授業とかを自分で一つひとつ決めなきゃいけないことが大変でした。

迫:大学は学びたいことしかなくて楽しい！

岩波:スタジオが充実してて活動しやすいです。

本郷:大学はとにかく自由なんです。だから自分で考える力が必要になります。

3. お気に入り授業とその理由を教えてください

八坂:「身体表現基礎Ⅰ」。ずっと踊ってきた私も、初心者の人もみんなが楽しめるダンスの授業で感動した！

渡邊:「身体表現基礎Ⅱ」。学生とのコミュニケーションを大事にしてくれますし、毎回予想できない面白い授業でワクワクします。

大橋:「空間デザイン基礎Ⅰ」。スタジオに入って、照明器具に触れる実践的な授業で楽しいです。

高橋:「映画映像史Ⅱ」。受講してから映画や映像の見方がぐんと変わりました。

4. 今後、頑張りたいことはなんですか？

迫:もっと色々なことを先生から吸収したいです！！

丹羽:自分の好きをもっともっと広げていきたい。

吉田:同級生と活動している劇団をもっと大きくしたいです。

大橋:個性的で楽しい人が沢山いるので積極的に関わっていきたいです。

八坂:フィードバック！ 大事だから一個一個の授業のフィードバックをしっかりとる！

西崎:節制。



演舞1年 岩波龍之介さん



劇美4年 本郷真衣さん



演舞2年 八坂采音さん



劇美3年 高橋一溪さん



劇美1年 丹羽篤仁さん



5. 多摩美を受験しようと思ったのはなぜですか？

岩波:入学した先輩がとても楽しそうに活動しているのを見て受験を決めました。

迫:進路に悩んでたら先輩が「ここもあるよ～」って教えてくれて決めました。

新井:自分の将来やりたい仕事に直結することを学べると思ったからです。

丹羽:専門分野を深めつつ、他の分野も幅広く学べるからです。

吉田:演劇だけでなく基礎造形や講義科目など美大ならではの授業も受けられるところです。

6. 受験期にはどのような準備をしましたか？

渡邊:勉強をしながらとにかく体力作りをしてました。

八坂:「体を絞る」「戯曲を読む」「大声を出す」みたいなことをしてたけど、結局恥ずかしくない「度胸」と求められたものを即体现できる「瞬発力」が必要だと思いました。

西崎:彫刻の先生に一人芝居とかやってフィードバックをもらってました。

新井:3年の夏からですけど画塾に通いました。画力はあるだけ役に立ちます。

高橋:ひたすらデッサンづくしの日々でした。

7. 受験生(未来の後輩)に一言

岩波:自分から動けば、楽しいことがいっぱい見つかるよ！

西崎:たぶんなんとかなる。

吉田:ありのままの自分を受け止めてくれる、懐が深い仲間がたくさん見つかる大学です。自分を曝け出すことが大事！

高橋:自分しかできない表現に自信を持って頑張ってください。

新井:自分が大学に入って何を学び、さらにその先で何をしたいかをざっくりと想像することが大事だと思います。

本郷:何処の大学に行くのかではなく、行った場所で何をやるかが大切です。道は一つではないので無理なく頑張ってください。

荒木知佳 2017年度 演劇舞踊コース卒

俳優(フリーランス)

2021年、第32回マルセイユ国際映画祭インターナショナルコンペティション部門にて俳優賞(『春原さんのうた』監督:杉田協士)を受賞

1、2年次では舞踊・美術・演劇、全てを同時に学ぶことができ、かけがえのない経験となりました。どのジャンルもそれぞれに通じているところがある、という発見がありました。現在、俳優をしていますが、舞踊で学んだ呼吸法や身体性、美術で学んだ発想力や作ることの楽しさが自分の根底となっています。



口公演『BGM』(脚本・演出:三浦直之)@KAAT神奈川芸術劇場
2023年5月 photo by 阿部章仁

木滝亜優 2021年度 劇場美術デザインコース卒

株式会社テレビ朝日 技術局 コーポレートデザインセンター

空間の芸術は美術、衣裳、照明など様々な分野が力を合わせて成り立ちます。

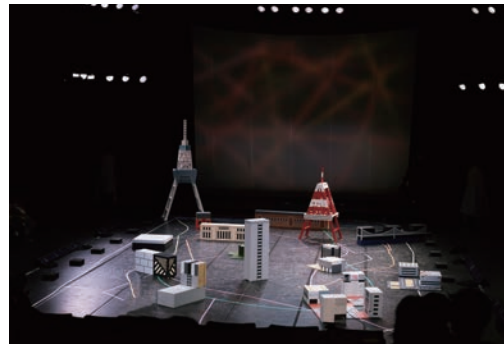
専門性はもちろん、関わる他分野も学ぶことができました。社会に出ても、その学びが活かしていると感じます。授業では先生方に親身にアドバイスをいただきながら作品と向き合うことで、自分のデザインの軸を作ることができました。



須澤里佳子 2017年度 劇場美術デザインコース卒

金井大道具株式会社 生産管理本部 国立劇場 美術グループ

やりたいことを思い切りやらせていただきました。「上演制作実習」や「卒業公演」では時に無謀とも思えるアイデアにも、業界の第一線で活躍される先生方がご経験を駆使し、思い描く作品を実現に結びつけてくださいました。基礎を固めた上で、時代の流れに合った舞台表現を学ぶことができる環境がありました。



東京演劇道場 第二回公演『わが町』(作:T・ワイルダー 演出:柴 幸男(ままごと))
@東京芸術劇場 シアターイースト 2023年1月~2月
主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場/東京都

山口眞子 2020年度 劇場美術デザインコース卒

衣裳家/衣裳デザイナー(フリーランス)

些細な疑問や興味を躊躇わず行動に移すことができる良い環境でした。そのおかげで自分の求めているものを明確にすることができました。少なくとも、その理想が今の仕事を繋いでいると思います。

小さな上野毛キャンパスで多くの人に密に囲まれて取り組んだ課題は、課題の域に留まらない濃密な経験であり、現在仕事に限らずあらゆる場面の糧となっています。



『ミル』@OZstudio渋谷 2023年2月 photo by 塚本倫子

演劇舞踊デザイン学科は2014年設立の新しい学科ですが、多摩美における上演芸術の教育は1954年からの永きに渡ります。改組を重ねて現在の学科に至り、2023年春には6期生が巣立ちました。専門性の高い学びを生かして歩みを進めている卒業生の声をお届けします。

安部 萌 2017年度 演劇舞踊コース卒

ダンサー/俳優/コラージュデザイナー(フリーランス)

直近の出演作品には『桜姫東文章』(木ノ下歌舞伎)

『ASAKUSA THUNDER GATE』(妖精大図鑑)など

基礎的な身体性を鍛錬しつつも、とにかく自由に創作し続けられた時間でした。

また、座学を通して芸術分野全般において多様な歴史や現状を広く学ぶことができ、感覚的ではありますが"アートの空気"のなかで現在の自身に直結しているパフォーマーとしての自分と向き合うことができたのは、美術大学ならではの環境だったと感じています。



Dance New Air 2020→2021 ダンスショウケース
『大蛇-義太夫とコンテンポラリーダンスによる-』(詞章・作曲・演出:やまみちやえ)@スパイラルホール 2021年10月
photo by Yulia Skogoreva

碩 紫音 2020年度 劇場美術デザインコース卒

株式会社アート・ステージライティング・グループ

オペラ、バレエ、ミュージカル、芝居など様々な舞台に関わり、プロとして日々勉強を続けています。今は『ハリー・ポッターと呪いの子』のフォロースポットを担当しています。プロダクションマネージャーは金井勇一郎先生です。先生ではなく同じ現場で働く先輩としてお会いできることをとても嬉しく感じています。



@赤坂ACTシアター

丹野武蔵 2019年度 演劇舞踊コース卒

俳優(フリーランス)/東京藝術大学大学院修士課程在学中

いろんな視点を持ったいろんな人たちがいます。学生だけでなく先生も。そんな人たちと話し、時には何かをついていくなかで、美学が衝突する。その先にあるものの一つは発見でした。何を大切にしているのか? そんなことを考えながら他人とそして何より自分と向き合った経験は、様々な表現方法を横断する僕にとって確かに財産になっています。



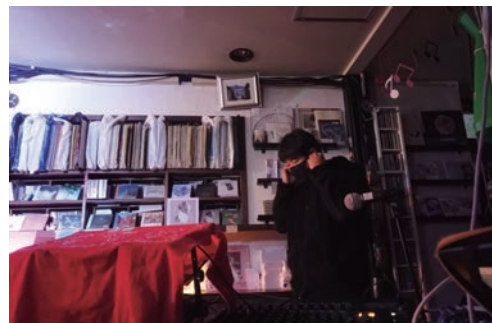
東京芸術祭2022 野外劇『嵐が丘』(演出:小野寺修二)
@GLOBAL RING THEATRE(池袋西口公園野外劇場)
2022年10月 Photo by 二石友希

湯川拓哉 2017年度 演劇舞踊コース卒

2019年度 大学院演劇舞踊専攻修了

俳優/演出家(コップクラフト共同主宰)

大学での一番の財産は"そうやすやすと分かり合えない"と知ることができたことです。表現の技術力の問題は勿論、人間として他者とどう向き合うのかをよく学びました。どんなに親しく同じ言葉を使っていると思っても、目の前にいる人間は"他者"です。同じく表現を志す他者に揉まれ、分かり合えなさから始める事は、大きな学びになりました。



『場の精霊からの手紙』(作:山本 悠 演出・ストーリー原案:湯川拓哉)
@三鷹 おんがくのじかん 2023年3月

主な進路

演劇舞踊コース

<就職>

(株)アーツテック
アール・エム
ヴイスカエンターテイメント(株)
(株)NI コンサルティング
(株)木下工務店レジデンス
協和商事(株)
(株)クリエイティブランド
(株)ケイファクトリー
(株)コヤマドライビングスクール
(株)JTB コミュニケーションデザイン
(株)新東通信
松竹(株)
(株)メディアミックス・ジャパン
(株)ZET-ON
(同)SOVA
(株)ディーエイチシー
(株)動画工房

トライストーン・アクティブラボ
(株)ノバレーゼ
(株)びびあっぷ
(株)日労研
フォーシーズンズホテル丸の内東京
ぶんぞう(株)
(株)ベストホスピタリティーネットワーク
ベネリック(株)
(株)プレコヴィュユニット
(株)プロダクション・エース
(株)星野リゾート
MARK STALER(株)
(株)モバイルコミュニケーションズ
(株)LAVA International
(同)ラルゴ
リゾートイラスト(株)
(株)フーモア
(株)マークスアンドウェブ

(株)貴和製作所
チャコット(株)
環境ステーション(株)
山王スペース&レンタル(株)
(特非)子ども支援ホーム
(株)ヤマシタ
朝日生命保険相互会社
(株)ディアステージ など

<進学>

多摩美術大学大学院 美術研究科 博士前期課程
東京藝術大学大学院 映像研究科 音楽研究科
ロンドン大学ゴールドスミスカレッジ 博士前期課程
ワタナベエンターテインメントカレッジ俳優養成所
など

<劇団など>

劇団唐組・FUKAIPRODUCE羽衣・ままごと・
シラカン など

劇場美術デザインコース

<就職>

(株)あい造園設計事務所
アイデアファクトリー(株)
(株)アウトソーシングテクノロジー
(株)アクア
(株)アサソーディ・ケイ
(有)アトリエ・カオス
(株)アート・クリエイティブ・パートナーズ
NUMBER SUGAR
(株)エスピーエスタくみ
(株)遠藤波津子美容室
(株)オリエンタルランド
(株)角川大映スタジオ
金井大道具(株)
(株)CREATIVE KCG
(株)北海道ステージアートアライアンス

(株)グレイ美術
(株)K-BALLET
シアトルコンサルティング(株)
(株)ジェット・プロジェクト
ジグノシステムジャパン(株)
四季(株)
(株)シミズオクト
松竹衣裳(株)
高津装飾美術(株)
宝塚歌劇団
多摩美術大学
千代田国際語学院
TSUCHIYA CO-OPERATION
(株)TBSアクト
(株)TOBE
(株)テレビ朝日

(株)テレビ朝日クリエイト
(株)電通デジタル
(株)東京美工
東京衣裳(株)
日本演劇衣裳(株)
(株)ヌーヴェルヴァーグ
ヌーベルキャリア(株)
(有)プロカント
(株)ベストアニバーサリー
(株)ポニーキャニオン
丸茂電機(株)
(株)ユナイテッドアローズ など

<進学>

東京藝術大学大学院 映像研究科 美術研究科

<劇団など>

文学座・シラカン など

大学院

<就職>

誠心誠意(株)
プロセusstudio(株)
金井大道具(株)

コモ
トライアングル.JP
ハウフルス
上海広電影視制作有限公司

<進学>

東京藝術大学大学院 博士課程 など

教員紹介

専任教員



舞台美術家

金井勇一郎 教授



舞台衣裳家・衣服文化研究者

加納豊美 教授



プロダクションデザイナー

山下恒彦 教授



演劇研究者

土屋康範 教授



演劇批評家

森山直人 教授



ダンサー・振付家

近藤良平 教授



劇作家・演出家・音楽家

糸井幸之介 准教授



劇作家・演出家

柴 幸男 准教授



舞台照明家

大平智己 講師



演出家・俳優・劇作家・振付家

野上絹代 講師

ダンサー

加藤梨花 講師

非常勤講師

阿部宗徳 (大道具製作)
 石橋 舞 (衣裳家)
 井手和歌子 (CAD スーパーバイザー)
 今井豊茂 (歌舞伎脚本家)
 井村正美 (映像・舞台照明家)
 岩城南海子 (美術監督)
 岩間美奈子 (バレエ)
 上田淳子 (舞台美術研究・心理応用舞台芸術研究)
 内田洋一 (文化ジャーナリスト)
 大石将弘 (俳優)
 大塚義紀 (シーニックアーティスト)
 大橋裕美 (演劇研究者)
 岡田裕子 (現代美術家)
 岡本陽介 (俳優・ダンサー)
 小川万寿子 (アートディレクター)
 川村美恵 (ダンス)
 木皮 成 (ダンサー・振付師)
 岸井大輔 (劇作家)
 岸川まや (バレエ)
 北尾 亘 (振付家・ダンサー)

北澤 香 (ダンス)
 窪田壮史 (俳優)
 小池れい (舞台美術家)
 小林愛子 (照明家)
 坂本もも (口口 / 範田遊泳 プロデューサー)
 佐藤 恵 (舞台監督)
 新川貴詩 (美術 / 舞台芸術ジャーナリスト)
 高橋泰代 (美術監督)
 滝口 健 (ドラマツルク・翻訳者)
 田中圭介 (演出家)
 土田 環 (映画研究・文化政策)
 東條 愛 (演劇・舞踊研究家)
 永野百合子 (振付家・演出家・ダンサー)
 西川成美 (舞台美術家)
 西田夏奈子 (女優)
 西村智弘 (映像研究)
 則武 弥 (アートディレクター)
 林 あまり (歌人・演劇評論家)
 深井順子 (女優)
 藤巻 聡 (照明エンジニア)

太湯雅晴 (美術家)
 前田芳秀 (演出家)
 松浦佐知子 (女優)
 松田朋春 (プランナー・詩人)
 三浦洋子 (テキスタイル)
 南 靖比呂 (カメラマン)
 宮下寛司 (演劇・舞踊研究家)
 森 佳子 (オペラ研究・音楽学)
 安永 瞬 (照明エンジニア)
 若山幸雄 (建築家)

【客員教授】

國吉和子 (舞踊研究・評論)
 高萩 宏 (文化政策・劇場運営)
 勅使川原三郎 (ダンサー・演出家・振付家)

【名誉教授】

野田秀樹 (劇作家・演出家・役者)

2024年度入試案内

入試の詳細については各種「2024年度学生募集要項」でご確認ください。

一般選抜（一般方式 / 共通テストI方式 / 共通テストII方式）

一般方式 募集人員：演劇舞踊コース18名 / 劇場美術デザインコース11名

実施日	コース	試験科目
2月3日(土)	● 劇場美術デザイン	鉛筆デッサン・デザイン
2月6日(火)	● 演劇舞踊・劇場美術デザイン	国語・英語
2月10日(土)	● 演劇舞踊	身体表現

共通テストI方式 募集人員：演劇舞踊コース12名 / 劇場美術デザインコース4名

実施日	コース	試験科目
1月13日(土) 1月14日(日)	大学入学共通テスト(6教科23科目から2教科2科目選択)	
2月3日(土)	● 劇場美術デザイン	鉛筆デッサン・デザイン
2月10日(土)	● 演劇舞踊	身体表現

共通テストII方式 募集人員：劇場美術デザインコース2名

実施日	コース	必須・選択等		試験科目
		必須	数学①	
1月13日(土) 1月14日(日)	劇場美術デザイン	必須	数学②	「数学Ⅰ・数学A」
		必須	数学②	「数学Ⅱ・数学B」
		選択1科目	理科	「物理」「化学」「生物」「地学」
		選択1科目	国語	「国語(近代以降の文章)」
		選択1科目	外国語	「英語」

統合型選抜

募集人員：演劇舞踊コース20名 / 劇場美術デザインコース13名

実施日	コース	試験科目	提出物
11月18日(土)	● 演劇舞踊	小論文・身体表現	—
	● 劇場美術デザイン	鉛筆デッサン	—
11月19日(日)	● 演劇舞踊	面接	—
	● 劇場美術デザイン	面接	作品およびポートフォリオ※

※ポートフォリオは出願時に提出

外国人留学生選抜・帰国生選抜・3年次編入学選抜

外国人留学生選抜・帰国生選抜 募集人員：演劇舞踊コース若干名 / 劇場美術デザインコース若干名

実施日	コース	試験科目	提出物
12月16日(土)	●演劇舞踊	小論文	—
	●劇場美術デザイン	小論文・鉛筆デッサン	—
12月17日(日)	●演劇舞踊	身体表現・面接	—
	●劇場美術デザイン	面接	作品およびポートフォリオ※

※ポートフォリオは出願時に提出

3年次編入学選抜 募集人員：演劇舞踊コース若干名 / 劇場美術デザインコース若干名

実施日	コース	試験科目	提出物
12月16日(土)	●演劇舞踊	小論文	—
	●劇場美術デザイン	小論文・鉛筆デッサン	—
12月17日(日)	●演劇舞踊	身体表現・面接	これまでの作品・活動記録等 を書面にまとめたもの (書式自由)※1
	●劇場美術デザイン	面接	作品およびポートフォリオ※2 (出身学校の課題を含む)

※1 全て出願時に提出

※2 ポートフォリオは出願時に提出

大学院美術研究科博士前期課程(修士課程)選抜

募集人員：演劇舞踊専攻(演劇舞踊研究領域 / 劇場美術デザイン研究領域) 8名

実施日	コース	試験科目	提出物
1月24日(水)	●演劇舞踊 ●劇場美術デザイン	小論文	—
1月25日(木)	●演劇舞踊	面接	作品3点以上(形式自由) およびポートフォリオ※1
	●劇場美術デザイン		作品3点以上(形式自由) およびポートフォリオ※2

※1 全て出願時に提出

※2 ポートフォリオは出願時に提出

入学試験会場

●上野毛キャンパス

●八王子キャンパス



学科オリジナル
サイト



演劇舞踊
コース



劇場美術デザイン
コース



募集要項

多摩美術大学 美術学部 演劇舞踊デザイン学科 演劇舞踊コース / 劇場美術デザインコース
〒158-8558 東京都世田谷区上野毛3-15-34 TEL: 03-3702-1186(直通) 窓口メール: sdd@tamabi.ac.jp HP: <https://www.sdd.tamabi.ac.jp>

2023年7月16日 発行

デザイン: 則武 弥 撮影: 白井晴幸(表紙・教員プロフィール)、石橋 絵(在校生の声) 編集・発行: 演劇舞踊デザイン学科研究室